



姫路市「総合福祉通園センター」視察

尼崎市「ヘルスアップ尼崎戦略事業」視察



中野区立第十中学校 創立60周年記念式典



新井エンジョイ広場視察



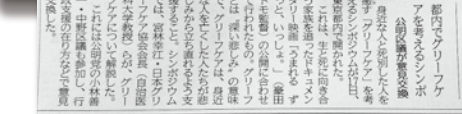
中野区成人のつどい



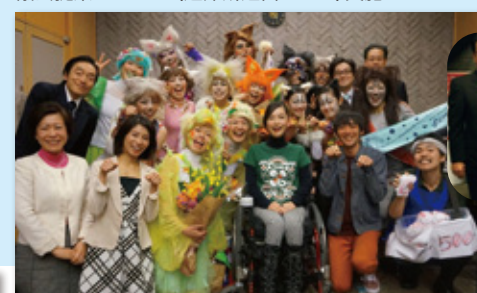
中部すこやか福祉センター避難所運営会議
議会提案したHUG(避難所運営ゲーム)実施



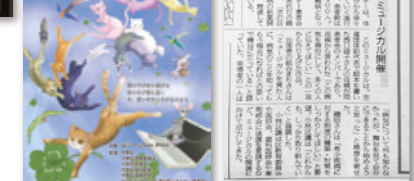
三味線橋通りが全面改修されました
(中央3丁目・4丁目の境の区道)



クリープケア試写会出席
下は公明新聞掲載記事



演劇「Letter」(難病・遠位型ミオパチーを題材)上演支援
左は公明新聞掲載記事



小林 ぜんいち

■区議会役職
中野区議会 厚生委員会 副委員長
中野駅周辺地区等整備特別委員会 委員
中野区国際交流協会 評議員

■資格所属団体等
(社)日本建築学会 正会員
(社)東京建築士会 正会員
早稲田大学稲門建築会 会員
中野稲門会 会員
福祉住環境コーディネーター協会 会員
マンションリフォームマネージャー
日本防災士機構 会員
中野区長野県人会 副会長



■経歴
宮本忠長建築設計事務所東京事務所に16年勤務、TAF設計事務所に勤務。
教育・福祉・医療・文化・事務所・商業・宿泊・公共施設、耐震診断、耐震補強設計や住宅設計等に従事。
独立後、建築専門学校等講師、住宅設計等に取り組む。



ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト
サイトURL
<http://kobayashizenichi.com/>
ブログURL
http://blog.goo.ne.jp/kobayashi_zenichi
Facebookは、小林ぜんいち または Zenichi Kobayashi
Twitterは、小林ぜんいち または @koba_zen

小林ぜんいち NEWS

— KOMEITO —
公明党
第16号
2015年2月発行
中野区公明党議員団



中野区議会は今年初めての第1回定例会が、2月19日から開催されます。
公明党は昨年11月、結党50周年を迎え、この間、大衆福祉、庶民の公明党として歩んで参りました。
小林ぜんいち立党の思いのまま、地域を回りながら平成23年(2011年)から4年間で、
生活・介護・子育てをはじめ建築・地域・まちづくりなど1000件を超える身近な区民相談をお受けし、
お一人おひとりの大切な「小さな声」を区政へ政策として実現・反映して参りました。
平成27年、これからも区民の皆様の暮らし向上に、全力で取り組んで参ります。

熱きハートで、区政を改革 小林 ぜんいち

<小林ぜんいち これからも全力で取り組みます>

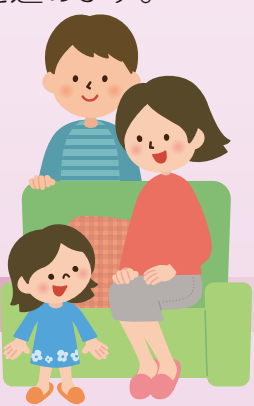
高齢者

- 1.「地域スポーツクラブの拡充」と「食育推進」で、子どもから高齢者まで、切れ目ない健康づくりを進めます。
- 2.「音楽機器を用いた生活機能改善プログラムの導入」で健康増進・介護予防を進めます。



子ども子育て

- 1.小児救急診療と病児・病後児保育を備えた「小児総合医療拠点開設」を進めます。
- 2.パパさん育ちの推進、父親学級の充実と父親手帳の配布を進めます。
- 3.中野で安心な子育てができる「産前・産後ケア体制」をつくります。
- 4.「公立通学路へ安全・安心の防犯カメラを設置」し、安全で安心の子育て環境をつくります。



まちづくり・防災

- 1.「街並誘導型まちづくり」と「空中権を活用したまちづくり」を進めます。
- 2.防災まちづくりを具体的に進めます。

①木造密集地域の解消 ②防災に活用出来る大規模公園整備



中野区議会 議会報告 平成26年 第4回 定例会



一般質問 (2014.11.27)

一般質問項目

1. 中野区の地域活性化について

1. フィルムコミッションによる地域活性化について

2. 職員の人材育成について

1. 職員の人材確保と育成について

3. 健康寿命・活動寿命延伸による 地域包括ケアシステムについて

1. 地域での健康・介護サポート事業について

2. 健康寿命・活動寿命を延ばす食育推進について

4. 防災施策について

1. スタンドパイプの普及啓発について

2. 防災用品あっせんについて
(ペットボトルオープナーについて)

3. 身を守る身近な防災対策について

4. 防災対策に役立つLCP住宅の普及促進について

5. その他

1. 中野ゼロ西館小ホールへ昇降機設備設置について

2. 見守り支えあいについて

小林ぜんいち 一般質問から抜粋

中野区の地域活性化

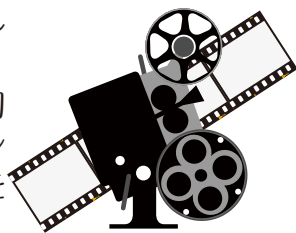
フィルムコミッションによる地域活性化について

小林 中野は今、「降りてみたくなるまち」に変わつつあります。こうしたまちの変化や注目性の高まりを捉え、フィルムコミッションを地域活性化の新たな取り組みの切り口で展開してはいかがでしょうか。

区長 ロケ撮影の誘致によって、様々な地域資源の国内外への情報発信や話題づくり、更にロケ地訪問者等の来街者の増加といった効果も期待できるものと考えており、研究を進めて参りたい。

小林 ドラマなどロケ地として登場している中野のまちを、映像を通じて観ることにより、新たな中野のまちが見えてくる。中野らしい風景や街並みなどを取りそろえ、中野のまちをフィルムコミッションによって、「中野の風景集」として売り込んではいかがでしょうか。

区長 民間活用も含めて、適切に遂行できるフィルムコミッションの在り方に付いて、今後課題を整理していきたい。



健康寿命・活動寿命延伸による 地域包括ケアシステム

地域での健康・介護サポート事業について

小林 区内の「あらいエンジョイ広場」には、「音楽と体操と映像」で楽しみながら出来る介護予防と機能訓練の取り組みがある。区でも音楽機器を用いて生活機能を改善するプログラムを導入してはいかがでしょうか。

区長 音楽機器を用いた生活機能を改善するプログラムの導入について、効果の検証や費用、設置場所など、総合的に検討していく。

健康寿命・活動寿命を延ばす食育推進について

小林 健康寿命や活動寿命を延ばす最大のポイントは食生活にあり、生活習慣病を防ぐには切れ目ない保健指導が必要と考えます。子どもへの対策では、母親の妊娠時から産後の育児、そして幼児期に、作成した「なかの食育かるた」などによる健康学習を行ってはいかがでしょうか。

区長 すこやか福祉センターとも連携し、妊娠期や育児期などの「なかの食育かるた」の活用についても工夫していきたい。



防災施策

スタンドパイプの普及啓発について

小林 スタンドパイプの設置された町会・自治会・防災会は、現在までに50を超えました。応急給水型のスタンドパイプも、平成27年までに、63基が避難所等に設置される予定です。

町会・自治会・防災会に、スタンドパイプの使い方に慣れて頂くためには日頃の操作訓練も重要になってきます。訓練の啓発・促進を行ってはいかがでしょうか。

区長 スタンドパイプを設置した防災会には訓練を促進するきっかけにするとともに、取り扱い操作を取り入れた訓練を推進していく。

小林 自主的に町会単位でもスタンドパイプの訓練を実施がされています。訓練の成果を発表する「スタンドパイプ操法の大会」を行ってはいかがでしょうか。

区長 スタンドパイプは区で導入を進めている資機材であり、訓練の成果発表会は操作要領の習熟を図る一つの目標となる。

小林 大活躍している中学生防災隊の皆さんへ、大事な頭を守るヘルメットの支給を行ってはいかがでしょうか。火・炎よけの付いた折りたたみ式のヘルメットが中学生には有効と考えますが、いかがでしょうか。

区長 中学生防災隊が、災害対応要員としての力を充分に発揮して頂くために、ヘルメットの配布に付いて検討していきたい。



ペットボトルオープナーについて

小林 握力などの力が弱くなり、高齢者が自動販売機などで購入したペットボトルのふたを開けられないとの声を聞きます。ふた開けに対応する器具・ペットボトルオープナーなどの設置を考えてはいかがでしょうか。まず、公共施設の自動販売機に、器具設置などを行ってはいかがでしょうか。

区長 先行事例や設置事業者の意見等も踏まえ検討する。

小林 ペットボトルを備蓄している避難所や備蓄倉庫に、オープナーの備蓄を行ってはいかがでしょうか。

区長 ペットボトルオープナーは、様々な製品が出来ており適当なものを配備するよう検討する

小林 夏の高齢者の熱中症対策に、高齢者会館などでペットボトルの飲料水の配布や、そのPRグッズとしてペットボトルオープナーを配布してはいかがでしょうか。

区長 高齢者会館などでもパンフレットや見本を備える等、必要な情報提供をしていく。



(ペットボトルオープナーの一例)

その他

中野ゼロ西館小ホールへ昇降機設備設置について

小林 中野ゼロ西館の小ホール部分には現在、専用の昇降機設備がないため、高齢者や障害をお持ちの方々から利用しにくいと声があります。中野ゼロ西館の平成28年度に行う大規模改修に合わせ、高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進・バリアフリー、ユニバーサルデザインの観点からも、小ホールの施設内に昇降機設備の設置をしてはいかがでしょうか。

区長 大規模改修に向けて設置の可能性を、調査・検討していく。

